

点検・測定等の実施基準

1 通常点検は次の(1)から(3)に掲げる基準に従って行うものとする。

(1) 外観点検を、(イ)に掲げる項目について、(ロ)に掲げる設備等を対象として行う。

(イ) 点検項目

- (a) 電気工作物の異音、異臭、損傷、汚損等の有無
- (b) 電線と他物との離隔距離の適否
- (c) 機械器具、配線の取付け状態及び過熱の有無
- (d) 接地線等の保安装置の取付け状態

(ロ) 対象設備

- (a) 引込設備（区分開閉器、引込線、支持物、ケーブル等）
- (b) 受電設備（断路器、電力用ヒューズ、遮断器、高圧負荷開閉器、変圧器、コンデンサ及びリアクトル、避雷器、計器用変成器、母線等）
- (c) 受・配電盤
- (d) 接地工事（接地線、保護管等）
- (e) 構造物（受電室建物、キュービクル式受・変電設備の金属製外箱等）
- (f) 配電設備
- (g) 発電設備（原動機、発電機、始動装置等）
- (h) 蓄電池設備
- (i) 負荷設備（配線、配線器具、低圧機器等）

(2) 次の(イ)から(ロ)に掲げる項目の確認のため、当該各項目に定める測定を行う。

(イ) 電圧値の適否及び過負荷等

電圧、負荷電流測定

(ロ) 低圧電路の絶縁状態

B種接地工事の接地線に流れる漏えい電流測定

(3) 上記(1)及び(2)の点検、測定のほか、設置者及びその従事者に、日常巡視等において異常等がなかったか否かの確認を行い、異常があった場合には、電気主任技術者としての観点から点検を行う。

2 年次点検を通常点検に係る上記1の(1)及び(2)の基準に加え、次の各項に掲げる基準に従って行う。

(1) 1年に1回以上行うものとする。（ただし、信頼性が高く、かつ、下記(2)項の各号と同等と認められる点検が1年に1回以上行われている機器については、停電により設備を停止状態にして行う点検を3年に1回以上とすることができる。）

(2) 次の(イ)から(ホ)に掲げる項目の確認その他必要に応じた測定・試験を行う。

- (イ) 低圧電路の絶縁抵抗が電気設備に関する技術基準を定める省令第58条に規定された値以上であること並びに高圧電路が大地及び他の電路と絶縁されていること。
- (ロ) 接地抵抗値が電気設備の技術基準の解釈第19条に規定された値以下であること。
- (ハ) 保護継電器の動作特性試験及び保護継電器と遮断器の連動動作試験の結果が正常であること。
- (ニ) 非常用予備発電装置が商用電源停電時に自動的に起動し、送電後停止すること並びに非常用予備発電装置の発電電圧及び発電電圧周波数（回転数）が正常であること。
- (ホ) 蓄電池設備のセルの電圧、電解液の比重、温度等が正常であること。

3 工事期間中は、上記1の(1)項に定める外観点検を行い、自家用電気工作物の施工状況及び技術基準への適合状況の確認を行う。

点検・測定及び試験の基準

電気工作物		点検・測定及び試験項目	通常点検	年次点検
受 変 電 設 備	引込線、 責任分界となる開閉器、 電線及び支持物	外観点検	○	1 回／1 年
		絶縁抵抗測定		1 回／1 年（※1）
		継電器との連動動作試験		1 回／1 年（※3）
	断路器 遮断器 開閉器	外観点検	○	1 回／1 年
		絶縁抵抗測定		1 回／1 年（※1）
		継電器との連動動作試験		1 回／1 年（※3）
		絶縁油酸価試験		※4
		絶縁油耐圧試験		※4
		内部点検		※4
	電力ヒューズ	外観点検	○	1 回／1 年
		絶縁抵抗測定		1 回／1 年（※1）
	計器用変成器	外観点検	○	1 回／1 年
		絶縁抵抗測定		1 回／1 年（※1）
	変圧器	外観点検	○	1 回／1 年
		電圧・負荷電流測定	○	
		温度測定	○	
		絶縁抵抗測定		1 回／1 年（※1）
		絶縁油酸価試験		※4
		絶縁油耐圧試験		※4
		内部点検		※4
	電力コンデンサ リアクトル	外観点検	○	1 回／1 年
		絶縁抵抗測定		1 回／1 年（※1）
	母線、避雷器、 その他高圧機器	外観点検		1 回／1 年
		絶縁抵抗測定		1 回／1 年（※1）
	配電盤及び制御回路	外観点検	○	1 回／1 年
		低圧絶縁抵抗測定		1 回／1 年（※2）
		継電器との連動動作試験		1 回／1 年（※3）
	接地装置	外観点検	○	1 回／1 年
		接地抵抗測定		1 回／1 年
	絶縁監視装置	外観点検	○	1 回／1 年
		設定値の確認		1 回／1 年
		試験釦による動作確認	○	1 回／1 年
		設定値における誤差確認		1 回／1 年
		伝送試験		1 回／1 年

電気工作物		点検・測定及び試験項目	通常点検	年次点検
負荷設備	電動機、電熱器、 電気溶接機、その他電気機器類 照明装置、配線・配電器具、 接地装置	外観点検	○	1回／1年
		低圧絶縁抵抗測定		1回／1年（※2）
		接地抵抗測定		1回／1年
		漏洩電流測定	○	
非常用予備発電装置	原動機関係	外観点検	○	1回／1年
		冷却水量・潤滑油量確認	○	
		起動試験	○	1回／1年（※5）
		機構部、排気装置など		※8
	電気関係	外観点検	○	1回／1年
		指示計器の表示確認	○	
		絶縁抵抗測定		※6
		接地抵抗測定		1回／1年
	運転制御関係			※8
蓄電池	蓄電池	外観点検	○	1回／1年
		比重測定		※7
		液温測定		※7
		電圧測定		※7

注1 高圧回路絶縁測定について

※1 高圧電路が大地及び他の電路と絶縁されている場合は、停電状態にして行う測定は3年に1回以上とする。

注2 低圧回路絶縁測定について

※2 技術基準を定める省令第58条に規定された値以上の場合は、停電状態にして行う測定は3年に1回以上とする。

注3 継電器との連動動作試験について

※3 保護継電器の動作特性試験及び保護継電器と遮断器の連動動作試験の結果が正常である場合は、停電状態にして行う試験は3年に1回以上とする。

注4 内部点検、絶縁油について

※4 操作状態、絶縁抵抗値などを勘案し行う。

注5 非常用予備発電機について

※5 年次点検での起動試験は停電で自動起動し、復電で自動停止させ、電圧、周波数が正常であることを確認する。

※6 絶縁測定は、メーカーの取扱説明書により実施を判断する。

※8 機構部や運転制御等の試験については、メーカーによる点検結果に基づく。

注6 蓄電池電解液について

※7 負荷状態を勘案し行う。

注7 特別点検

必要に応じて行う。

注8 注1～3の測定、試験方法及びその判定の基準について

測定、試験方法及びその判定の基準については、別に定める受託者基準による。

なお、適用基準に満たない場合は、停電状態にして年次点検を行う。